

平成27年6月17日に2期目がスタートした西村市政。2年を経て折り返しの3年目を迎えた加西市で、子育て支援や教育の充実、都市基盤の整備など、この1年間どのような取り組みが行われてきたのか、その一部を紹介します。

■子育て支援・教育の充実

中学3年生までの子どもの医療費無料化に加えて、昨年4月から4・5歳児の保育料を所得制限なしで無料化（給食費などは実費負担）しました。また、質の高い幼児教育と保育に向けて、別府幼児園と九会幼児園を統合し、加西こども園を4月から開園。今後も幼保一体型の施設整備を進めていきます。

昨年9月から小・中・特別支援学校に「学習支援システム（情報・通信技術を活用）」を導入しました。デジタル技術を用いた動画やアニメーション教材を教室の大型テレビに映し、視覚的に子どもたちの思考や理解を深める教育を推進しています。



4月に開園した加西こども園



「ホテルルートイン加西・北条の宿」の完成予想図

■都市基盤の整備・産業の活性化

完売した住宅団地「ベルデしもさと」（28区画）のような良好な住宅地の開発に向け、昨年10月に県内初の3者協定（加西市、尾崎町自治会、不動産業者）を締結し、来年春頃に宅地販売を始める予定です。

また、ビジネスホテルの誘致について成功し、昨年8月にルートインジャパン株式会社と基本協定を締結。来年には、旧市営駐車場（北条町栗田）に「ホテルルートイン加西・北条の宿」が開業する予定です。中国自動車道加西インターチェンジ周辺では、新産業団地整備の協議を進め、地域経済の活性化にも取り組んでいます。

■地域資源を生かした観光開発

昨年6月には、財務省から鷺野飛行場跡地の払い下げを受けました。

同跡地周辺を「防災」「レクリエーション」「歴史遺産群」の3つのゾーンに分けて整備するとともに、拠点施設として、鷺野ミュージアム（仮称）と地域活性化施設を整備し、「紫電改」のレプリカ展示や特産品の販売などを予定しています。



構想中の鷺野ミュージアム（仮称）のイメージ図



北播磨の商業・流通の中心として栄えた北条旧市街地

■地域ブランド力を高める取り組み

ワークショップの意見などを基に北条旧市街地ビジョンの具体化計画を3月にまとめ、地域の賑わいやまちなか居住を目指した交流等の場づくりのため、若い世代の活動支援に取り組んでいます。北条旧市街地元気なまち再生事業として、歴史・文化を育み、未来を創るリノベーション（※）により、ブランドを高めるとともに、空き家・空き店舗に関する相談やマッチング、田舎暮らし体験などを展開しながら、市内全域への移住・定住につなげていきます。

※リノベーションとは、不動産の改修等により、新たな機能や付加価値を増大させ、地域全体で不動産の再生を図る取り組みです。

加西市出身の方をはじめ、加西市を応援したいという全国の多くの方々からふるさと納税をいただいています。平成28年度は、前年度を大幅に上回る 12,800 件、5 億 5,457 万円のふるさと納税をいただきました。この制度が始まった平成 20 年度からの累計は、9 億 1,312 万円になりました。

寄附者の希望する「寄附金の使い道」に沿って、子育て支援などの事業に活用しています。平成 28 年度は、次のとおり 4 億 7,700 万円を活用しました。詳しい事業内容は、市ホームページをご覧ください。

ふるさと納税は、寄附の増額とともに、特産品の PR にもつながり、多くの方に加西市を訪れてもらうきっかけにもなります。市外にお住まいの家族や親戚、友人に加西市へのふるさと納税の呼びかけをお願いします。



図書館にある図書や教材

■平成 28 年度の主な活用事業

事業名	充当額	事業内容
子育て支援・教育環境整備	1 億 7,039 万円	加西こども園建設、西在田小学校改築工事、図書や教材の購入
ふるさと創造・若者の定住促進	9,021 万円	ふるさと創造会議の支援、北条高校活性化、若者世帯住宅補助
地域振興等	7,927 万円	ぶどう生産推進補助、新規就農支援補助、通学路や道路の修繕
観光整備・歴史遺産の保存や活用	7,323 万円	播磨国風土記事業、鶯野飛行場跡地周辺整備
地域医療支援等	6,390 万円	加西病院の支援、運動ポイント事業など



キラリ☆加西

第 4 回 宇仁郷まちづくり協議会・会長
常峰八郎さん (74 歳)



市制 50 周年おめでとうございます。50 年前は、結婚して子どもができ、家族が増えたことや、仕事で東北地方から九州地方まで訪れていたこと

を思い出します。

■加西市の変化／今の子どもたちも元気に「おはよう」「さようなら」とあいさつをしてくれますが、昔のほうが子どもの人数も多かったのもっと明るかったように思います。また、青年団や消防団、PTA 役員などの活動では、大変なことも多かったのですが、仲が良く、いろんな経験を楽しくすることができました。

■未来を託す子どもたちへ／みんな仲良く、あいさつができる子どもになってほしい。それに加え、何か得意なことをみつけて一生懸命打ち込み、人間性をより豊かにしてほしい。

■宇仁郷まちづくり協議会の今後の展望／平成 23 年に宇仁地区の特別指定区域・新規居住者区域の認可を受け、誰でも住んでいただけるようにしました。今後は、宇仁小学校旧運動場の跡地を有効利用していく予

市制 50 周年記念として、加西市で活躍する方々にインタビューをし、50 周年のメッセージや活動状況などを紹介します。

定です。また、「地域主体型交通システム」制度を利用して、一人暮らしで車の運転ができない方などのお買い物や病院へ送る手助けをできないか検討しています。各種団体と協力しながら取り組みを進め、元気で心豊かな子どもを増やしていくことで、地域の活性化につなげていきます。

■宇仁郷まちづくり協議会の活動／平成 20 年にスタートし、現在は 10 部会で活動しています。宇仁の里・



花畑街道部会では、地域を美化するコスモスまつり事業等に取り組み、中高年 毎年 10 月に開催しているコスモスまつりの生きがいやふれあいの場にもなっている宇仁の朝市部会では、地元で採れた新鮮な野菜や果物を提供するなど、さまざまな部会が地域の皆さんの協力を得ながら活動の幅を広げられています。